



# 岡島政信 議員

Masanobu Okajima



6月定例会

質疑あれこれ

トピックス

公共交通

一般質問

議会を傍聴して

議会用語

追跡

## Q. 震災避難行動等について問う

### A. 新しい規格で、夜間でも避難所が確認できる形式の表示を設置したい

**Q** 町職員を対象として、毎年図上訓練が行われている。昨年はどのように行ったか。

**A** 総務部長  
震度6弱南海トラフ地震の発生を想定し、町内全域で家屋の倒壊や火災被害等が発生し、多くの負傷者が出たという想定の下、非常配備の職員となる男性主事以上の本庁職員を対象に訓練を行った。地震発生から4日間の初動期間に起こりうる様々な課題が付与され、参加者は迅速かつ適切に対応策を講じていく訓練を行った。

**Q** 図上訓練における避難指示発令の基本的な手順はどのようになっているか。

**A** 総務部長  
防災行政無線、防災メールやエリアメール、広報車などを使い、いかにして情報を正確かつ確実に町民へ伝達するかを

考える。浸水や火災の被害が想定される区域には集中して情報提供する。地域の方々と協力して安全な場所まで誘導していく内容となっている。

**Q** 避難所への移動がうまく行われか不安で、ハザードマップに記された場所の確認を行った。

そして、一時避難所33カ所中、一部の場所において「災害避難場所」の表示が設置されていない。全個所設置が必要と思う。見解はどうか。

**A** 総務部長  
法改正に伴い平成27年度に「指定緊急避難場所」36カ所と「指定避難所」13カ所を指定した。新たに指定した施設には、表示の設置はない。

全ての避難場所及び避難所に新しい規格の表示をしたい。

**Q** 新しい規格の表示がほしいとのことだが、子どもたち及び

外国の方々にも理解されやすいピクトグラム（絵表示）の検討は必要に思う。見解はどうか。

**A** 総務部長  
外国の方々でも、

子どもたちでも目見て、避難所と判る図記号を採用し、また夜間でも確認できる形式の表示で設置したい。



▲「災害避難場所」の表示